



学校だより

清瀬市立清瀬第三中学校 6月号

〒204-0002 清瀬市旭が丘1-262

<http://www.kiyose.ed.jp/>

kiyosedaisantyuugakkou/index/html



運動会を終えて

保健体育科 中田 陽士

第55回運動会が大成功のもと幕を閉じました。前日は、昼過ぎまでしっかりと雨が降っていましたので準備は、係生徒総出でグラウンド整備を行い、あとは本番を迎えるのを待つだけでした。生徒が下校し静まりかえった校庭に予期せぬ突然の雷雨で校庭は湖に…せっかくみんなで準備をしたのに…(>_<)明日は予定通り決行できるのかと、一抹の不安を抱えながら家路につきました。

しかし、心配ご無用！ここからチーム三中の底力が発揮されます。教職員が早朝からグラウンド整備をはじめ各持ち場で準備を開始、定刻で運動会を実施することが出来ました。手前味噌ですが、これは奇跡です。三中の教職員は運動会にかける熱い思いが違いますから…(∩_∩)v

★「運動会」＝「地域の祭り」の復活だ！

「運動会」を英語にすると「Sports Festival」。高校等では、「体育祭」というところも多くあります。

「祭り」には、参加する人（生徒）、応援する人（保護者・卒業生、地域の方々など）、運営に関わる人（実行委員や各係、教職員）、会場を華やかにする演出をする人（吹奏楽部、クラス旗係）、ボランティアで支える人（PTA）がいて成り立ちます。 ※地域の方々の観戦は、残念ながら今年度はまだ不可。

コロナ禍において実に3年ぶりに有観客での開催となり、内容も昨年度から大きく一歩前進しました。吹奏楽部の演奏が復活し開閉会式をより華やかなものにしてくれました。伝説の競技「綱引き」の復活や新種目「色別対抗リレー」の実施もよかったですと思います。「地域の祭り」が復活したことは感無量です。最後にまた触れますが、コロナ禍においてこの復活の第一歩は、とても大きな意味があります。

★本気だから輝く 本気だから充実感を味わえる だから楽しい！

さて、大成功に終わった運動会をふり返ってみたいと思います。

なんとといっても3年生の輝きです。三中の生徒会スローガンではありませんが、一人一人が輝いていました。ほぼ毎日の朝練、放課後練習、授業の中で、「ハカ&ダンス」「大なわとび」「実行委員」「係活動」「クラス旗」「個人種目練習」＋「引退間近の部活動」「受験勉強」…想像してみてください。

1.2年生と比べてはるかにタイトな生活をしているにも関わらず輝きを放てたのはなぜでしょうか？「最後にかける思いがあるから…」確かにひとつの要因ではあると思います。

それは、「本気から生まれる充実度」だと思います。それでは、一人一人の「本気」はどこから生まれてくるのでしょうか？

実行委員が本気で頑張っている。ダンスリーダーたちが本気で頑張っているし、諦めずに指導してくれる。大なわをまわす人は腰が痛くても泣き言を言わず頑張ってくれている。このリーダーたちの姿を見て、なんとか自分もリーダーの力になりたいと感じる人たちが、一人二人…と増えていく。

はじめは、今ひとつ本気になれなかった「ハカ&ダンス」も練習を重ねていくうちに少しずつ楽しみを感じて

いくようになってくる……。すると表情がガラッと一変し豊かになる。ラスト一週間の充実度は、素晴らしいものがありました。日々練習に立ち会っていて、その変化を感じていましたので、「運動会」って、これほどまでに生徒たちを成長させてくれる本当に楽しい最高の行事だなと改めて感じました。

人は、本気で頑張っている人を応援したくなるものなのです。また、本気で応援されると自分自身も殻を破ってでも応えようと頑張れるものなのです。この相乗効果を生み出すことが行事の素晴らしさです。

1. 2年生のみなさん、3年生の「ハカ&ダンス」の演技を通して、あの一体感はどうして生まれたのか、みんなが自信を持って演技に入り込んでいるあの表情はどうして生まれたのか、様々な要素が凝縮されています。来年、再来年……と自分たちが伝統を引き継ぎ、さらなる進化のために必要なことは何か、ぜひ、考えてみてください。

★リーダーの資質とは……

ここで、行事や学校生活の中では欠かせないリーダーの資質について考えてもらいたいと思います。リーダーの資質と聞かれて、「統率力がある人」と考える人も多いと思いますが、その前に必要なことは、「どれだけ仲間のために頑張れるか、時間を割けるか、仲間を大切にできるか」の覚悟があるかです。ただ目立ちたい、仕切りたい、格好いいから、面倒なことは人任せ……と自分本位に考えている人に、周りについてはいきません。私も時間を割いてまで、本気で一緒に仕事をしようとは思いません。

一見不器用でも、本気で自分たちのために頑張ってくれている。最後まで信じてくれている。と感じる人にはついていきます。今でこそ素敵なお3年生も昨年までは、周りが見えていなかった人が多くいましたが、運動会が近づくにつれて顔つきも立ち振る舞いも変わってきました。「応援したくなるリーダー」「応援したくなる学年」へ成長したと思います。この先、合唱コンクールも控えていますし、みなさんの今後の成長のために「リーダーの資質について」ぜひ考えて欲しいので、あえてこの話題にしました。

★1. 2年生のみなさんへ

各係の仕事を先輩たちと一緒によく頑張りました。今年の運動会は、競技数が増えたにも関わらず進行がスムーズであったことは、各持ち場で自分たちの仕事を真剣に行った成果でもあります。来年以降が楽しみです、やってくれるだろうと期待しています。

運動会の成功について、得点競技を頑張るのは当たり前ですが、入場行進、開閉会式、ラジオ体操、招集、入退場、各係の仕事、演技種目、準備・片付け……など「得点には直接つながらないところで、いかに頑張れるか」だと三中では代々語り継がれています。

来年、再来年に向けて必要なことは、3年生になってから頑張るのでは遅いということ。1年生としてどれだけ本気で取り組めたか、2年生としてどれだけ本気で取り組めたか振り返ってみてください。

今ひとつだったという人もいるでしょう。運動が苦手、嫌いだという人も当然いるでしょう。大切なことは、どんなことでも自分の成長につながっていることを忘れてはいけません。自分の持っている力をどれだけ出し切れたかです。これからの一日一日の過ごし方が、一年後、二年後につながっています……。

★最後に、「運動会」＝「地域の祭り」が復活したことの意義

コロナ禍で人との触れ合いが薄れていき、マスクを外せない人も増えていく世の中で、三中の運動会（地域の祭り）が復活した意義は大きいと思います。共通の目標に向かって全力で取り組んでいく経験、感情をむき出しに悔しがったり、喜んだりする姿、本気で仲間と関わり合った経験は、人が本来持っている感情を素直に表現することの素晴らしさを思い出させてくれたのではないのでしょうか。人格の形成に重要な思春期に三中のような「本気の運動会」が、どの地域でも普通に開催されることを切に願います。

道徳地区公開講座

6月17日（金）に道徳地区公開講座を行いました。昨年度はコロナ禍で授業参観と協議会は行われませんでしたでしたが、今年度は多くの保護者の方に参観していただくことができました。学年ごとに同じ題材で授業を行いました。担任の先生がそれぞれクラスの特徴を考えて意見が出やすい雰囲気をつくれるように工夫して授業を行いました。授業後には学年ごとに協議会も行われました。授業のねらいや生徒の変容、どのような力を身に付けてほしいかなど、三中の特別な教科「道徳」への取組について意見交換を行いました。いただいたご意見をもとにして、授業の改善に努めていきます。参加していただきました保護者の皆様、ありがとうございました。



教育実習が終了しました

5月23日（月）から3週間、教育実習が行われました。今年度は2名の実習生が生徒とともに生活し、教員になるための勉強をしました。実習生からのメッセージを紹介します。

野崎 珠慧 先生（保健体育科）

3週間お世話になりました。最初は無事に実習を終えられるか不安でしたが、明るく声を掛けてくれる生徒ややさしく接して下さった先生方に支えられてあっという間に実習が終わってしまいました。

清瀬第三中学校では貴重な体験をすることができました。生徒のためになる授業をすることの難しさや指導の仕方など教育実習に行ったからこそその学びがたくさんありました。特に運動会に関わることができ保健体育科の実習生としてとても貴重な経験になりました。私が教師になった時に先生方のような働きができるようにしていきたいです。

清瀬第三中学校で学んだことや感じたこと、できるようになったことを活かしてこれからも努力していきたいと思えます。3週間本当にありがとうございました。

百崎 琴音 先生（音楽科）

私はこの3週間、本当にあっという間でした。そのくらい内容の濃い時間を過ごさせていただいたのだと思います。授業では大学でやっていた模擬授業では経験できないそれぞれのクラスや生徒に合わせた声かけ、雰囲気づくりを学ぶことができました。これにはたくさんのアプローチの仕方を持っておく必要があり、今のうちなるべく多くの用意をしたいと思えました。今回、運動会にも参加させていただきました。生徒の普段生活をしている姿とはまた違ったキラキラしてかっこいい姿を見ることができました。特に3年生の最後の運動会に対する姿勢に感動しました。学級は2年C組の皆さんにお世話になりました。おとなしい生徒から活発な生徒までいろいろな生徒がいましたが関わっていくうちにみんな個性的ですてきな生徒たちで毎日楽しかったです。また、吹奏楽部のみなさんにもお世話になりました。運動会へ向けて練習している姿を見ていたので運動会当日の演奏がすてきなものになってうれしかったです。教育実習生として清瀬第三中学校に来させていただいて、本当にうれしかったです。たくさんの経験をさせていただきありがとうございました。この経験が生かせるように、これから努力していきたいと思えます。本当にありがとうございました。

ふれあい月間

東京都では毎年、6月、11月、2月を「ふれあい月間」と定めていて、いじめ防止や体罰防止、悩みごとの相談など心のふれあいに関する取り組みを行っています。三中でも「ふれあい月間」の期間では、いじめで悩んでいる生徒がいないか、学校や家庭で困っている生徒がいないかをアンケートを行ったり、2年生ではすでに始まっていると思いますが、担任の先生と生徒の二者面談を行ったりして、悩みを相談しやすくする取り組みを行っています。生徒会でもこの時期に合わせて「あいさつ運動」を行っています。登校してきた生徒に元気な声であいさつをします。以前はハイタッチもしていましたが、コロナ禍のためエアハイタッチをしています。お互いにコミュニケーションを図り、悩みを抱えない環境づくりに努めています。



インターンシップ

今年度も教職を目指す学生2名がインターンシップとして、12月まで毎週木曜日に来校して教員の仕事を体験しています。授業の手伝いや給食指導、部活動など、実際に先生方と一緒に仕事をして、教員の仕事について理解を深めることが目的です。インターンの学生の自己紹介を掲載します。

宇井 大樹さん

私の趣味はサッカー全般に携わることです。日本サッカー協会の講習に参加し、指導者資格と審判資格を取得済みです。小学校1年生の時から高校生まで競技を行ってきました。しかし腰を痛めてしまい途中で部活を辞めています。選手がだめなら指導者になろうと思ったところに私のサッカーに対する思いが現れています。

指導と教職は共通するものがあると思います。この経験をインターンで活用できるように頑張っていきたいです。

酒井 清香さん

明星大学教育学部2年生の酒井清香です。私は将来、中学校の理科の先生になるために勉強をされていて、インターンとしてこちらに来させていただくことになりました。生徒の皆さんに寄り添っていけるような教員を目指し、授業のサポートなども頑張りますのでわからないことや聞きたいことがあったら気軽に話しかけてください。今まで運動部に所属していたので運動が大好きです。また、趣味はおいしいものを食べることで、1番好きな食べ物は茶わん蒸しです。授業や休み時間を通して生徒の皆さんと多く関わったら良いなと思いますので、約半年間よろしくお願いします。

今後の主な予定

7月 5日 (火)	3年復習確認テスト
11日 (月)	Ⅱ期時間割開始
12日 (火)	避難訓練
15日 (金)	大掃除
16日 (土)	午前 授業公開 (給食有) 午後 1・2年保護者会 3年修学旅行保護者会
18日 (月)	海の日 (祝日)
19日 (火) ~	午前授業週間 (給食有) 個人面談始
22日 (金)	終業式 給食終